

私が主役 あなたも主役 みんなのパワーが県民活動

さぼ〜と21

財団法人 やまぐち県民活動きらめき財団
TEL 083-924-9090 FAX 083-924-9096
URL <http://homepage3.nifty.com/kirameki/>
E-mail kirazd@nifty.com

やまぐち県民活動支援センター
TEL 083-934-4666 FAX 083-934-4667
URL <http://www.kenmin.pref.yamaguchi.jp/>
E-mail myama@mbe.sphere.ne.jp
753-8555 山口市大手町9-6 山口県社会福祉会館4階

きらめき通信 第 **11** 号
2004.12

Contents

- 特集
県民活動ボランティアフェスティバル2004
協働ネットワーク事業報告
- 特別企画
つぶやきを形に 思いをしくみに
世古 一穂さん NPO研修・情報センター代表理事
- Close Up / 活動団体紹介
 - ・厚東見守り隊
 - ・周南ジャグリングクラブ
 - ・特定非営利活動法人 萩子どもセンター
 - ・はまゆう林業グループ
 - ・盲導犬ボランティア・エールの会
- お知らせ
きらめき財団から
『県民活動交流サロン』オープン!!
支援センターから
旬な情報をお寄せください!
センターに新スタッフが加わりました!

県民活動ボランティアフェスティバル2004 特別企画

市民、NPO、行政、企業の協働の時代

特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター代表理事
世古 一穂 さん



11月14日の「県民活動ボランティアフェスティバル2004」にて、世古一穂さん(特定非営利活動法人NPO研修・情報センター代表理事)による記念講演が行われました。盛りだくさんのお話の中から、要約してご紹介します。

ボランティアとNPOの違い

ボランティアは個人の概念、NPOは組織の概念で、会社員と会社が違うようなものです。NPOはボランティアが動きやすくなるための社会的なしくみです。組織としてのしっかりしたNPOがあれば、ボランティアは社会活動に自由に参加したり活動したりできます。多様なテーマで活動する自立したNPOが多様ないと、ボランティアは行政のお手伝いか、下請けで終わってしまいがちです。



世古一穂(せこ かずほ)さん
特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター代表理事
京都市生まれ。
神戸大学文学部哲学科(社会学専攻)卒業。
NPO法づくりのための「市民活動制度連絡会」の世話人として特定非営利活動促進法制定に尽力。
人材養成を専門とした、NPOを支援するNPOとして「NPO研修・情報センター」を開設、代表理事として現在に至る。
「コミュニティ・レストラン@」ネットワーク代表。
地方制度調査会審議委員(総務省)等の政府委員を務める。著書として「協働のデザイン」「市民参加のデザイン」他多数。

市民参加と協働の違い
市民参加は個人の行政への参加をいうのに対して、協働は組織間の対等な関係性の概念です。個人である市民と組織である行政との関係についていう場合は、「行政への市民参加」という表現をします。

つぶやきを形に思いをしくみに

協働は組織と組織、セクターとセクターの関係性を表す言葉で、市民参加を進めるということが必ずしも協働を進めるということとはイコールではありません。協働領域が増えるということは、市民が責任を持つ領域が増えることともいえます。協働を進めるためには、公共分野における市民と行政の役割分担をきちんとすること、そのためには、行政に任せすぎてきた公共領域の仕事を市民に分権する『市民分権』という考え方が必要です。

『協働コーディネーター』の必要性

行政とNPOの協働政策を立案、実行するためには、行政とNPOの守備範囲を明確にしたうえでパートナーシップに基づく役割分担が不可欠です。こうした考え方に立てば、NPOと行政の協働とは、行政が一方的に“支援”するのではなく、互いに支援し合うしくみであることがわかります。また、協働とは「市民、NPOへの分権」ともいえ、そのためには真の行政改革が不可欠です。協働を進めるコーディネーター、いわゆる『協働コーディネーター』は、「地域の人々のつぶやきを形に、思いをしくみにする」専門的職能です。NPO研修・情報センターでは『協働コーディネーター』養成のための体系だった研修と「認証制度」を実施しています。山口県でも『協働コーディネーター』の人材養成研修ができる機会があることを願っています。

「さぼ〜と21」は、各市役所、町村役場・公民館・図書館・各市町の活動センター・一部の大型店・道の駅等で配布しています。イベント、助成金情報はメールマガジン「さぼ〜とメール」にてお届けしています。配信や情報掲載のご希望については、お気軽に支援センターまでお問い合わせください。

ボランティアフェスティバル

2004

2004・11・14・sun
徳山大学

11月14日(日)、徳山大学キャンパスにて『県民活動ボランティアフェスティバル2004』を開催しました。当日の様子をご紹介します。

第1分科会 元気を創りだすそこちから (生涯学習)

～みんながつながりあう、見つけ出す協働の喜び～

ボランティア団体が様々な活動を展開している中で、今後、学校や家庭、地域において人と人、人と組織、団体同士が交流を深めながら活動の幅を広げていくことが求められています。実践発表では、新南陽高校JRC部の13名が、日頃の活動の様子をバルーンアートの実演をまじえて発表しました。またパネルディスカッションでは、ボランティア・グループ「とおの山会」、ふれあいの森



新南陽高校JRC部による実践発表

なんでも工房、山口子どもの文化研究会の各代表による発表から、それぞれの団体の活動のそこちからを感じることができました。



3団体の代表によるパネルディスカッション

運営 山口県ひとづくり財団

第3分科会 あなたが作るボランティアの世界 (NGO)

～自分で作るNPO・NGO～

第3分科会では、ベトナムや中国、アフリカ等の国々と、医療・教育の支援を通じて交流を行っているNGO・NPOと、山口県内の各地域で福祉・ボランティア活動を展開している団体が、講義形式で発表を行いました。



貴重な体験を話してくださった岩本晋先生

活動を始めたきっかけや実体験を聞くと、実際に活動する上での喜びや難しさ、熱い思いが伝わってきました。新しくボランティア活動を始めたい、また活動の場を作りたいという人にとって、具体的なイメージ作りに役立つ有意義な分科会でした。



各講師の方のお話に皆熱心に耳を傾けていました

運営 徳山大学
IMAYA(国際医療協力山口の会)

第2分科会 見てふれて考えよう、そして市民活動への一歩を踏み出そう (県民活動)

～わたしたちのまちをもっと元気にしたい～
市民活動グループの活動PR

周南市を中心に市民活動を行っている20余りの団体が一堂に会し、日頃携わっている活動について多くの人達に知ってもらうため、様々な催しが行われました。



写真やイラスト等が盛り込まれた手作りのパネル展示の前では多くの来場者が足を止め、団体の人から色々説明を受けていました。また、講演会場では部屋いっぱい集まった人々が各団体による講演を興味深そうに聞き入っていました。

紙芝居を使って介助犬についてわかりやすく講演

一般来場者に対するPRだけでなく、参加団体相互の交流もあり、市民活動のさらなる高まりを予感させる賑わいでした。



各団体それぞれの催し方で活動内容をPR

運営 周南市市民活動支援センター

第4分科会 子どもと暴力 (子ども支援)

～子どもにできること、おとなにできること～

この分科会は、いじめや虐待など、子どもたちへの暴力を地域の中で防止するために何ができるのかを考えたいという思いから企画されました。当日は、子どもがあらゆる暴力から自分を守るための人権教育プログラムを県内各地で展開している「ひだまりCAPやまぐち」による、ワークショップが行われました。参加者は、「大人」「子ども」それぞれの立場に立って暴力や人権について話し合いました。



いじめのロールプレイ(寸劇)でのひとコマ

また改正児童虐待防止法について徳山大学・家常教授の解説もあり、大人が「地域の一員」としてできることを共に考えました。



ワークショップの様子

運営 徳山大学
ひだまりCAPやまぐち

県民活動
ボランティアフェスティバル
 2004

展示・体験
 コーナー

キャンパス内のあちこちで、たくさんの機関・団体により多彩な催しが行われました。



企業・勤労者ボランティア
 企業の社会貢献活動・人材バンク及び
 マルチライフ支援事業紹介パネル展示
 高齢者擬似体験車椅子体験
 ミニSL体験乗車・展示
 ふわふわドーム
 バッテリーカー
 クイズ(景品くじ付)
 おもちゃの病院もやってくるよ!!
 運営 山口県経営者協会
 山口県労働者福祉協議会
 山口県ボランティアセンター

**介護体験&介護機器・用品
 福祉情報機器展示紹介**
 運営 徳山大学

活動PR・キーホルダーづくり
 運営 山口県共同募金会

活動PR・臓器移植ドナー&レシピエントキルト展示
 運営 山口県腎友会

活動PR・きらめきチャリティー
 運営 やまぐち県民活動きらめき財団

活動PR・インターネット健康診断
 運営 シニアネットやまぐちやまぐち健康生きがいがづくり推進協議会

活動展示・徳大生参加の県民活動パネル展示
 運営 遊友会

主催 (財)やまぐち県民活動きらめき財団 やまぐち県民活動支援センター
 共催 徳山大学 (社福)山口県社会福祉協議会 (社福)周南市社会福祉協議会 山口県経営者協会
 (社)山口県労働者福祉協議会 (財)山口県ひとづくり財団 (財)山口県文化振興財団
 (財)やまぐち女性財団 (財)山口県国際交流協会
 後援 山口県 山口県教育委員会 周南市 周南市教育委員会
 協力 中国電力(株)

やまぐち県民活動パワーアップ賞 受賞団体を紹介します！

「やまぐち県民活動パワーアップ賞」は、平成12年度にやまぐち県民活動支援センターのオープン1周年を記念して創設された知事表彰であり、コミュニティ活動・ボランティア活動・NPO活動などの県民活動のさらなるパワーアップを願って、毎年5団体が表彰されています。

第5回目となった今年度の受賞団体をご紹介します。



10月8日表彰式での記念撮影

厚東見守り隊

代表者：縄田 隆博

住 所：759-0121

宇部市厚東棚井上 厚東ふれあいセンター

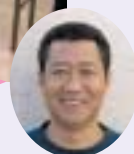
連絡先：TEL:0836-62-0049(FAX兼)

平成13年、厚東校区のボランティア団体「らぶ厚東」は、高齢者への気配りの意識を高めるため、「向こう三軒両隣声かけ運動」を提唱しました。この運動の中から子ども達を地域が見守り、育てる発想が生まれ、平成15年に結成されたのが『厚東見守り隊』です。

現在約110名の隊員が、それぞれの生活の中で子ども達に目をかけ、気をかけ、声をかけて、子ども達を温かく見守っています。今年の4月には児童と隊員の対面式を行い、世代を越えた交流を楽しみました。



近年子どもを巻き込む犯罪が増え、地域で子どもを見守る構想が広がっています。厚東では約110人の目と地域の目が子どもを見守り、校区の将来を担う人材育成と、幅広い世代の交流に努めています。



隊長 縄田さん

周南ジャグリングクラブ

代表者：藤井 一之

住 所：745-0056 周南市新宿通1-22

連絡先：TEL:0834-22-5188 / FAX:0834-22-5189

E-mail:fujii@rentax.jp

ジャグリング（西洋大道芸）をとおして、達成の笑顔・遊びの笑顔・応援の笑顔など、さまざまな笑顔を育て、広げることにより、心豊かな人づくりを行いたいと、2001年3月に会を結成しました。

お祭りやイベントへの参加、大道芸の道具を使った体験教室やワークショップの開催、福祉施設や学校の訪問などを行っています。

大道芸を通じて人と人との間にある垣根を取り外し、心と心の架け橋（ネットワーク）を結ぶことによって、心豊かなまちづくりにつなげたいと思っています。



昨年は大分県でもジャグリングを披露する事ができました。今後はジャグリング技術の一層の向上と笑顔満開を目指して、様々な方との交流イベントに参加していきたいと思っています。



代表 藤井さん

特定非営利活動法人 萩子どもセンター

代表者: 石丸 智子

子どもたちが夢を持って豊かな子ども時代を過ごせるよう、また、それをサポートする大人の連携を図れるよう、さまざまな活動をしています。

主な活動として、子育て支援(ピヨピヨの会、子育てミニミニ講座)、子どもの諸活動支援(自主活動、ストリートダンス)、舞台鑑賞、子どもと文化に関する活動支援(影絵の会、ストーリーテリングの会)、などがあります。

子育て環境が大きく変化する中、楽しく子どもと向き合い、大人も子どもも共に育ちあえる活動、子ども自身が創造性を発揮できる活動をし、子どもがいきいきと育つ地域になれるよう努力していきます。

住 所: 758-0047 萩市大字東田町52番地

連絡先: TEL:0838-25-7540(FAX兼)

E-mail:hagi_kodomo_center@yahoo.co.jp



「子どもの笑顔がみたい」
心の豊かさは心の運動をすることで育ちます。
たくさんの感動や体験によって心の運動をしませんか?みなさんの参加をお待ちしています。
ホームページ 近日公開します。



理事長 石丸さん

はまゆう林業グループ

代表者: 岡崎 悦子

はまゆう林業グループは、昭和62年に林業技術の習得や地域林業振興を目的に結成し、以来18年にわたり女性ばかり12名で活動を続けています。

主な活動としては、しいたけの栽培やひのきの間伐の手入れ、小中学校の総合学習の時間に「森の恵み」を利用したリースやつるかご作りの指導、炭焼きや竹飯づくりなどの体験活動にも取り組んでいます。

また、県・町行事への参加を通じて他グループとの交流および作品の展示・販売、先進地の視察研修なども実施しています。

住 所: 759-4401 大津郡日置町大字日置上6141-1

山口県西部森林組合 日置町グリーンセンター内

連絡先: TEL:0837-37-2349



これからも会員の融和を第一に、地域の人のふれあいを大切にしながら、活動の幅を広げ、元気をもらい、元気があげられる存在感のあるグループでありたいと思っています。



代表 岡崎さん

盲導犬ボランティア・エールの会

代表者: 岡村 浩子

視覚障害を持ちながらも、盲導犬と共に明るく活躍している北崎さんという女性に感動を覚え「エール」をもらったという思いから、その姿を皆さんに知ってもらいたくて、この会を立ち上げました。

例えば、「盲導犬が全てを判断してユーザーを導いているわけではない。あくまで盲導犬の様子を感じたユーザーが行動の最終判断をしている」といったユーザーや盲導犬に関する実情は、まだまだ知られていません。盲導犬と共に健常者と障害者が一緒に安心して暮らしていける社会を目指して、これからも盲導犬に関する啓発活動を行っていきます。

住 所: 750-0012 下関市観音崎町4-12

連絡先: TEL:0832-31-5417(担当:藤井 FAX兼)

E-mail:don-mama.150123-16080@docomo.ne.jp



ユーザーにとっては段差や点字ブロック等が状況判断の材料となります。
街なかでそういうものがなく状況を判断しかねて困っている様子のユーザーを見かけたら、どうぞ一声かけてあげてください。



会のみなさん

写真提供・毎日新聞



開会式典では、県民活動団体34団体、個人15名が「やまぐち県民活動きらめき財団理事長表彰」を受けられ、4事業所が「企業ボランティア活動促進モデル事業所」として新たに指定を受け、紹介されました。

【プログラム】

- 10:00 開会式典
やまぐち県民活動きらめき財団理事長表彰
企業ボランティア活動促進モデル事業所の公表
- 10:30 記念講演『市民、NPQ、行政、企業の協働の時代』
講師 世古一穂氏
(特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター代表理事)
- 12:00 昼食・フリータイム(交流会・展示・体験コーナー)
- 13:00 分科会(テーマ別)
- 15:00 閉会

第5分科会 県民活動 (県民活動)

ホッチポッチフォーラム・2004

～県民活動のごった煮(ホッチポッチ)を作ろう～

「第5回やまぐち県民活動パワーアップ賞」の受賞団体による活動発表と、今年度の受賞団体の特徴に焦点をあてたフォーラムが行われました。グループに分かれた参加者は、ワークショップ形式で「子どもが主体的にボランティアに取り組むためには?」「子どものボランティア活動に高齢者が支援できることは?」という2つのテーマで話し合い、グループ発表を行いました。



ワークショップの様子

意見交換や他団体との交流を通して、参加者の新しいネットワークや活動の広がりのきっかけが生まれたように思いました。



フォーラムエビローグでの新庄さんの発表

運営 山口県環境生活部県民生活課

第7分科会 地域で育てる地域の子 (児童福祉)

～学校・地域・家庭・行政が協働して子育てをするために...～

現在、子どもたちを取り巻く環境は大変厳しく、青少年による犯罪等も増加しています。このような状況の中で「それでは今、私たちに何ができるのか」をテーマに、学校・地域・家庭・行政で活躍されている方が一堂に会してパネルディスカッションが行われました。



みんなで自由に意見交換

それぞれ立場は違っても「すべての子どもがいいきと輝ける環境を」という思いはひとつのはず。垣根を取り払い、対等な立場で手を繋ぐことで、子どもたちの明るい未来は拓ける!そんな期待感を抱かせる分科会になりました。



活動事例の発表

運営 周南市社会福祉協議会

第6分科会 サンシャワーバンド&みかんの花 (障害福祉)

ジョイントコンサート

～音楽が障害のある人に与えし「誇り」に関する一考察 / ボランティアが関与したい領域～

施設のクラブ活動に音楽を取り入れたひかり苑の「サンシャワーバンド」。余暇活動と居場所づくりに音楽サークルを立ち上げた「みかんの花」。この二つのバンドによるジョイントコンサートとミニシン



「世界がひとつになるまで」

ポジウムが行われました。音楽活動を通じて、障害のある人たちが自分の持つ力を発揮しています。彼らの放つメッセージは、共に音楽を楽しむ人々を変えていきます。コンサートでは、会場の参加者の表情が次第にこやかになっていきました。障害のある人もない人も一緒になって歩いていける、そんな未来を感じさせる分科会となりました。



会場の参加者も一緒に手話で歌いました

運営 周南市社会福祉協議会

第8分科会 協働のデザイン (県民活動)

～協働について考えよう～

午前中の記念講演の延長として、『協働コーディネーター』の入門編となる分科会でした。



旗あげアンケートの様子

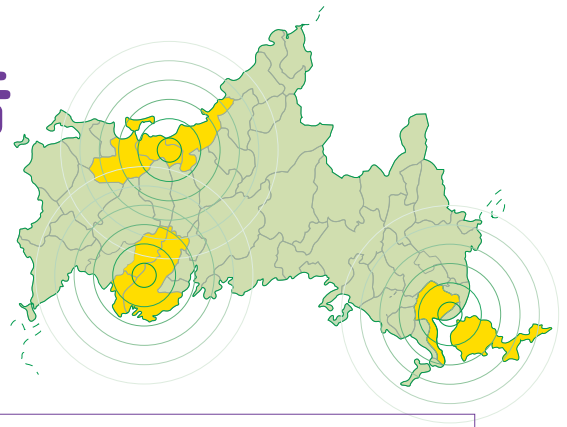
ふだん見ているものの「見方を変える」ことの重要性や、同じルールの下に立つことで、社会的立場をはずして対等な関係が築けることを知りました。後半はグループで詩をつくり、その過程における合意形成の3つの方法を実践し、合意形成できた時の喜びを共有することができました。「参加者の発言や気づきからお互いに学ぶことができる」など、講師の世古さんからたくさんの視点やヒントをもらい、発見や驚きの連続でした。



見方を変えると味が増える

運営 特定非営利活動法人 NPO研修・情報センター
特定非営利活動法人 たすけあいねっとわーく

協働ネットワーク 事業報告



県内の団体の交流や情報交換、ネットワークづくりのために、今年度は「協働ネットワーク事業」を県内3ヶ所で開催しました。県内各地で活動をされている団体で実行委員会を設立していただき、企画から運営などすべてお願いしました。今回の目的は主に交流ですが、各地のリーダーの養成も目的としています。また、これを機に地域で協力・連携がなされ、県民活動が活発になればと思っています。



各分科会に分かれディスカッション

事業名 まちづくりネットワークINGプラザ
日時 平成16年8月7日(土)10時~15時
場所 周防大島町(旧東和町)周防大島文化交流センター
内容 団体のパネル展示・事例発表・意見交換会
実行委員 NPO法人周防大島自然体感クラブ
 NPO法人やしる郷いやしの里・NPO法人いろりの家
 豊笑家倶楽部・かみのせき郷土史学習にんじゃ隊

柳井・大島地区

とても暑かった8月7日に、周防大島町(旧東和町)で、まちづくりネットワークINGプラザを開催しました。柳井・大島地区でまちづくりの分野で活動している団体のメンバーが中心となって企画・運営しました。地域における県民活動団体の交流やネットワークを広げ、地域を主体的に活発に推進するためのきっかけづくりを行うと共に、県民活動を支援する拠点の創設に向けた取組みにもつなげていこうということで、柳井・大島地区で活動している団体のパネル展示や事例発表を行いました。午後からは資金や助成金の使い方、行政や他団体との交流、地域に密着した活動などのテーマ別に分かれ、意見交換や情報交換などをしました。また、この結果を参加した皆さんの意見として、市民活動支援センターの設置を柳井市・大島町(当時)に要望しました。



開会式の様子



活動報告に関与する参加者



アイスブレイクでなごやかに

事業名 出会おう!新しい仲間 作ろう!オモシロ企画
日時 平成16年9月25日(土)10時~15時半
場所 小野田市 小野田市民館
内容 アイスブレイク、グループワーク
実行委員 エコ環境プランニング、ひだまりCAP、奏楽 など

小野田・宇部地区

小野田・宇部地区では、様々な市民活動団体や個人が活動を展開しています。そのさらなる発展のためには、お互いに知り合い、理解しあう事が大切となります。そこで、異なる分野の活動を融合する事でよりよい活動が出来るかどうか、グループワークをおして検討しました。まずは二胡の演奏と太極拳の演技披露で2つの融合のすばらしさを目の当たりにしました。その後、アイスブレイクをしてお互いの気持ちをほぐし、グループに分かれて異なる分野を盛り込んだ事業計画を立て、発表しました。発表の中には、太極拳を学び北京オリンピックへ行くことというユニークなものや、むら・まちホームステイなどの計画もありました。グループワークをおして様々な人とのネットワークが出来、これからの活動にきつと役立つヒントがみつかったことと思います。



アイディアを出し合う実行委員の皆さん



二胡と太極拳の融合



企画立案のグループワーク



お父さんと手あそび・歌あそび

事業名 ハート ハートをつなごうね!萩子育て展
日時 平成16年10月23日(土)・24日(日)11時~17時
場所 萩市 萩子どもセンター事務所
内容 パネル展示、情報コーナー、絵本・手遊び、高校生託児コーナー
実行委員 NPO法人萩子どもセンター、NPO法人すぎのこジャンボリー委員会、など

萩・長門地区

萩・長門地区では、子育て支援や子どもの健全育成活動を主にしている8団体13人が委員となり、連携を図りました。実行委員会の会議で情報交換や交流をする中で、私の子育てから私たちの子育てへになるようにと企画を立て、準備をしました。当日はパネル展示やビデオ上映、子育てマップや子育て情報コーナーを設置し、お父さんの絵本の読み聞かせや手遊びタイムなどもあり、盛況でした。地域の高校生に呼びかけた託児コーナーには16人の応募があり、研修を受けた高校生が赤ちゃんやお母さんたちと楽しくふれあう場面が見られました。また、今回の企画は商店街での「こどもまつり」と同時開催だったので、相乗効果でたくさんの方々が来場があり、地域にこんなに子育てがサークルがあるんだね!などと嬉しい声が聞けました。子育ての輪、地域の輪が広がったように思えました。



実行委員会を5回開催



熱心にパネルを見るお母さん

